



2018年2月期 第2四半期決算補足資料



株式会社イオンファンタジー

目次

1. 会社概要
2. 2018年2月期第2四半期連結累計期間
決算概要
3. 2018年2月期第2四半期連結累計期間
重点取組み概要
4. 2018年2月期 連結業績予想

【参考資料】
単体資料



株式会社イオンファンタジー

会社概要



株式会社イオンファンタジー

2

会社概要

.....

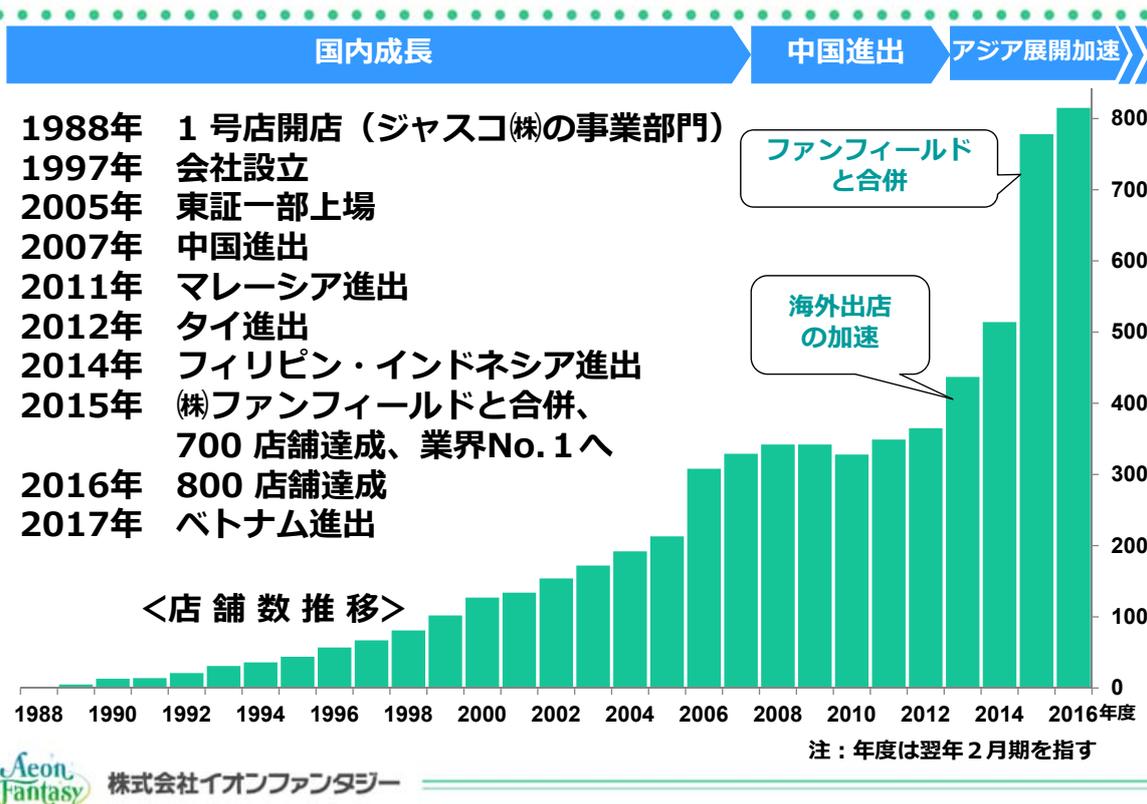
- 1) 商号 株式会社イオンファンタジー
- 2) 所在地 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
- 3) 設立 1997年2月14日
- 4) 資本金 17億47百万円
- 5) 株主 イオン株式会社 65.5%、その他 34.5%
- 6) 市場 東京証券取引所 市場第一部
- 7) 事業 ショッピングセンター内「アミューズメント施設」
及び「インドアプレイグラウンド」の運営



株式会社イオンファンタジー

3

沿革



4

アミューズメント施設運営企業 業界No.1

順位	企業名	売上実績 (2016年度)
1位	イオンファンタジー	650億円
2位	A社	472億円
3位	B社	405億円
4位	C社	372億円
5位	D社	151億円
6位	E社	133億円

※各社の売上高は海外を含めた連結ベースのアミューズメント施設売上額

5

2018年2月期第2四半期

連結累計期間

決算概要



株式会社イオンファンタジー

6

2018年2月期第2四半期連結累計期間の業績

- 売上高は**過去最高**。前年同期比10.3%の増収。
- 営業利益、経常利益は2007年2月期以来**11年ぶりの過去最高**。
- 四半期純利益も大幅増益。

2018年2月期第2四半期累計期間（2017年3月1日～2017年8月31日）（単位：百万円）

	2017/2期 第2四半期 累計期間	2018/2期 第2四半期 累計期間	前期比 増減率
売上高	32,404	35,742	+10.3%
売上総利益	3,762	4,997	+32.8%
営業利益	1,694	2,545	+50.3%
経常利益	1,561	2,301	+47.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	805	1,101	+36.8%
1株当たり四半期純利益	40.88円	55.90円	15.02円増



株式会社イオンファンタジー

7

セグメント情報

(単位：百万円)

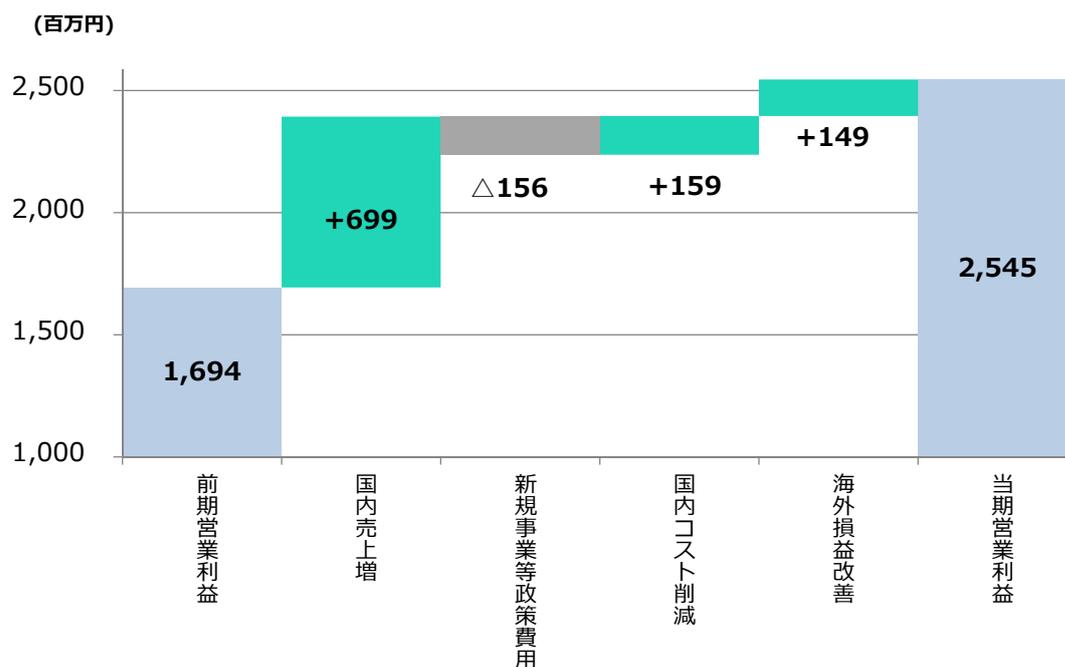
	国内	海外			連結調整	連結計
		中国	アセアン	計		
売上高	29,708 (+8.0%)	4,184 (+23.3%)	2,029 (+33.7%)	6,214 (+26.5%)	△179 (-)	35,742 (+10.3%)
営業利益	2,468 (+704)	128 (+121)	△49 (+27)	79 (+149)	△2 (△2)	2,545 (+851)

売上高 () 内は前年同期比増減率
営業利益 () 内は前年同期増減額

トピックス

連結業績の 増収・増益	売上高は同期間では過去最高。 営業利益、経常利益は、いずれも同期間では2007年 2月期以来11年ぶりの過去最高。 親会社株主に帰属する四半期純利益は計画を大きく上回 る推移。
新会員制度 「モーリーフレンズ」 のスタート	従来の3つの会員制度を統合し、利便性やサービスを向上 させた新会員制度「モーリーフレンズ」をスタート。 会員数は順調に増加。
新業態 「にこはぴきっず」 をオープン	NHK Eテレの人気幼児番組をテーマとした、遊びと学び のキッズエデュテイメント施設「にこはぴきっず NHK キャラクターとあそぼう」を、東武百貨店池袋本店に7月 13日オープン。

営業利益 要因別増減分析



連結貸借対照表

2018年2月期第2四半期末（2017年8月31日現在）

(単位：百万円)

	2017/2期末		2017/8期末		期首に対する増減
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	11,259	26.0%	12,763	26.5%	+1,504
固定資産	32,069	74.0%	35,468	73.5%	+3,399
資産合計	43,328	100.0%	48,232	100.0%	+4,903
流動負債	11,000	25.4%	14,876	30.8%	+3,875
固定負債	6,707	15.5%	6,611	13.7%	△96
負債合計	17,708	40.9%	21,487	44.6%	+3,778
純資産合計	25,619	59.1%	26,744	55.4%	+1,124
負債純資産合計	43,328	100.0%	48,232	100.0%	+4,903

連結キャッシュフロー計算書

2018年2月期第2四半期（2017年3月1日～2017年8月31日）

（単位：百万円）

	2017/2期 第2四半期	2018/2期 第2四半期	前期比増減
営業活動によるキャッシュフロー	4,204	3,980	△223
税金等調整前四半期純利益	1,492	2,056	+564
減価償却費	3,227	3,488	+260
法人税等の支払額	△67	△990	△923
投資活動によるキャッシュフロー	△4,746	△4,645	+101
有形固定資産の取得による支出	△4,709	△4,966	△257
財務活動によるキャッシュフロー	1,452	△35	△1,488
借入による純増減額	1,752	302	△1,450
配当金の支払額	△295	△315	△20
現金及び現金同等物の増減額	790	△730	△1,520
現金及び現金同等物の期首残高	3,724	6,442	+2,717
現金及び現金同等物の期末残高	4,514	5,711	+1,196

店舗数の状況（2017年8月末日現在）

	Mollyfantasy	kidzoona	その他	計
日本	425	5	40 (2)	470 (2)
中国	129 (4)	39	8	176 (4)
マレーシア	47	24	7	78
タイ	24	20	1	45
フィリピン	0	31	0	31
インドネシア	1	8	0	9
ベトナム	4 (4)	4 (4)	1 (1)	9 (9)
カンボジア	1 (1)	1 (1)	0	2 (2)
海外計	206 (9)	127 (5)	17 (1)	350 (15)
合計	631 (9)	132 (5)	57 (3)	820 (17)

注：（ ）内数値は内数で、FC等（業務提携契約、業務委託契約、ライセンス契約を含む）の店舗数です。

2018年2月期第2四半期

連結累計期間

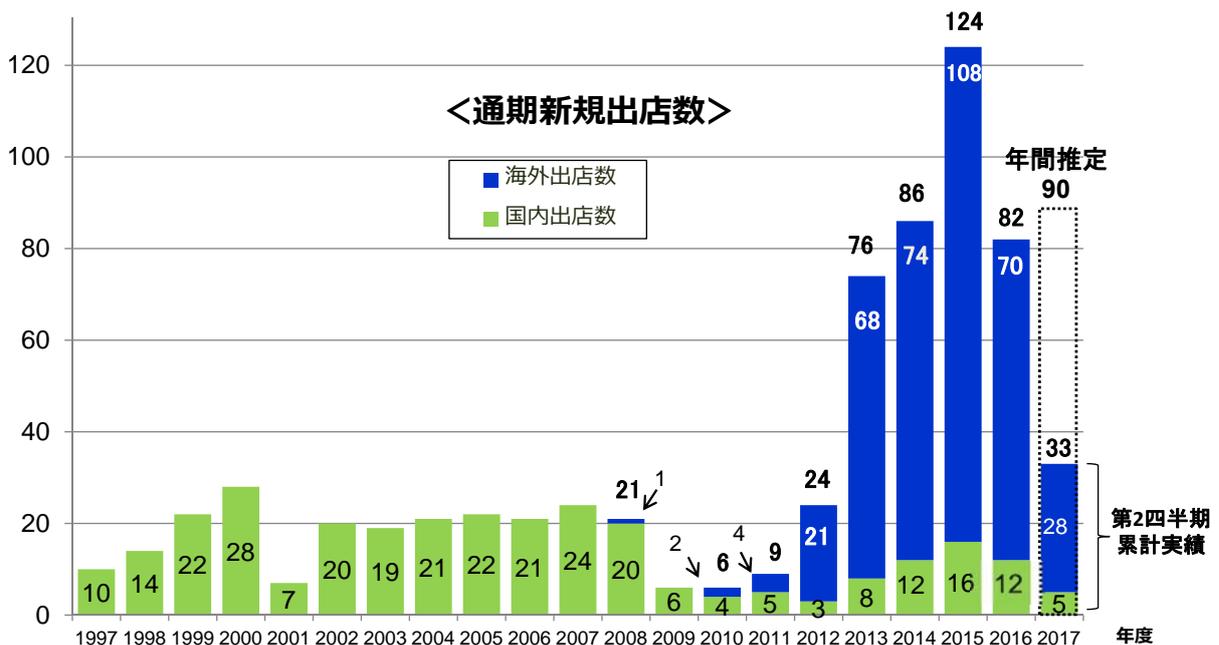
重点取組み概要



株式会社イオンファンタジー

新規出店

■ 第2四半期累計期間での新規出店は33店舗。



注：年度は翌年2月期を指す

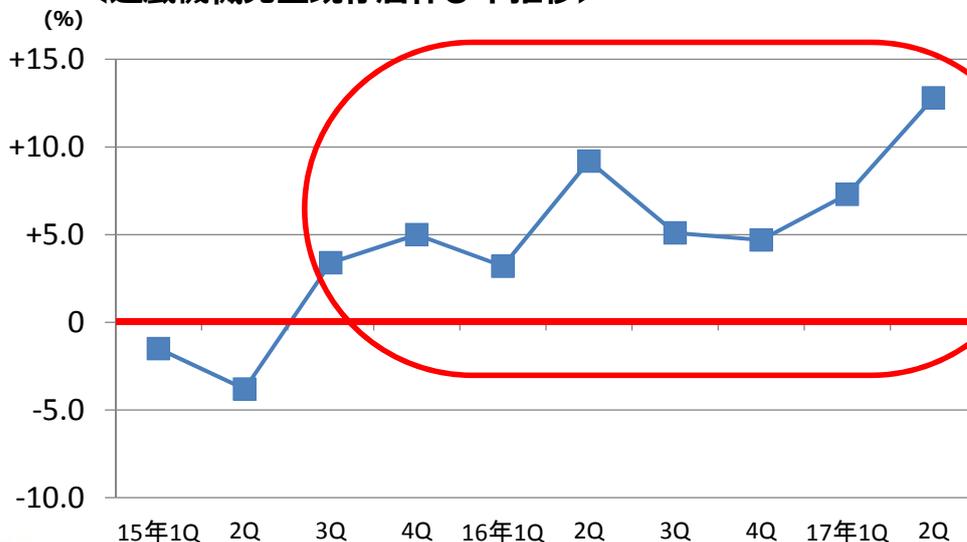


株式会社イオンファンタジー

国内 遊戯機械売上の伸長

- 遊戯機械売上既存店伸び率は2015年9月より24ヶ月連続でプラスとなり好調を維持。（当第2四半期会計期間既存店伸び率+12.8%）

＜遊戯機械売上既存店伸び率推移＞



当社オリジナル景品の展開強化

- 他社とのコラボによる当社オリジナル景品の展開強化。

ミニストップとのコラボによる
『ソフトクリームスクイズ』



映画とのタイアップによる
『HiGH & LOWグッズ』

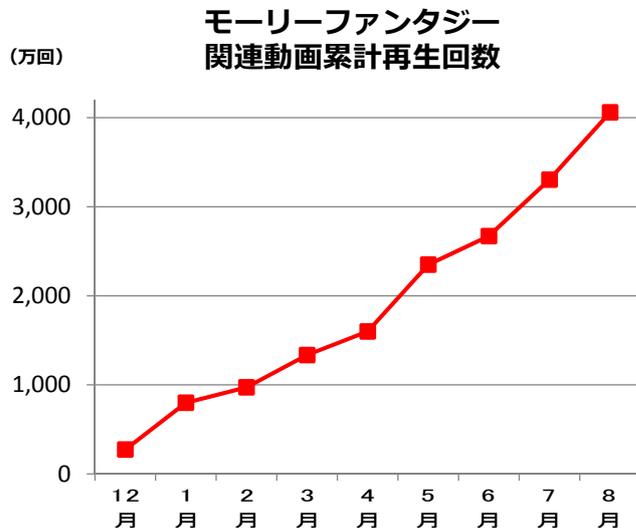


小学館とのコラボによる
『コロコロコミッククッション』



You Tube を活用した動画プロモーション

- 当社オリジナル景品紹介などモーリーファンタジー関連動画の累計再生回数 4,000万回超。（17年8月現在）



視聴回数270万回



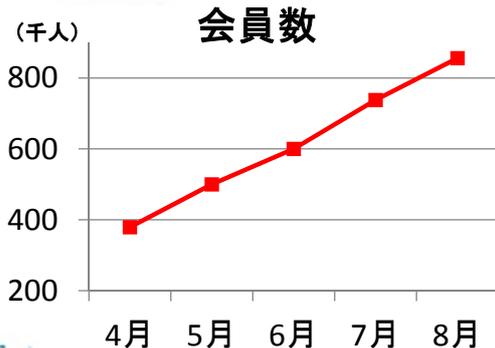
視聴回数370万回



株式会社イオンファンタジー

新会員制度「モーリーフレンズ」のスタート

- 従来の3つの会員制度を統合し、利便性やサービスを向上させた新会員制度「モーリーフレンズ」をスタート。
- 会員数が順調に増加。



株式会社イオンファンタジー

新しい遊び方提案『よくばりパス』

- 従来の「1回100円」モデルから「30分500円」「60分1000円」遊び放題という新しい遊びの選択肢を提案。99店舗に導入完了。
- 97.1%のお客さまが「お値打ち、家族みんなで遊べてよい」等満足されているご感想。（お客さまへのアンケートより）



24店舗の活性化を実施

- 「モーリーファンタジー」の内装と品揃えを一新する大型の活性化を22店舗実施。
- 来店客層に合わせ、「モーリーファンタジー」から「PALO」への業態変更を2店舗実施。



活性化実施店舗の
昨年比

実施前 101.8%

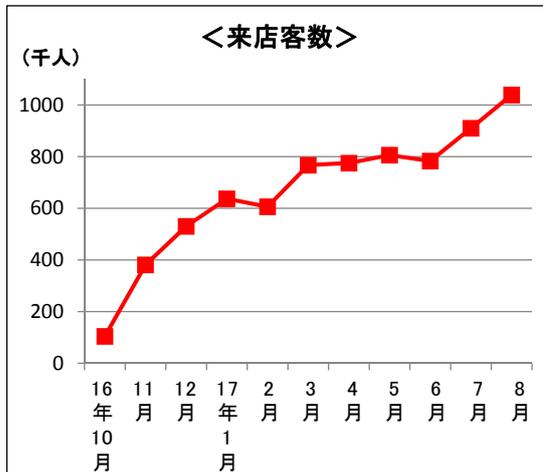


実施後 110.8%

+9.0ポイントの
効果

WAON POINTの活用

- 16年10月より全店に専用端末を利用した、WAON POINTの来店ポイントサービスを開始。
- WAON POINTをメダルに交換することも可能に。
- 順調に増加し8月度は月間延べ100万人以上のお客さまがご利用。



新業態「にこはびきっず NHKキャラクターとあそぼう」

- NHK Eテレの人気幼児番組をテーマとした、遊びと学びの『キッズエデュテイメント施設』を新規に開発。
- 2017年7月13日、東武百貨店池袋本店に初出店。連日幼児連れのファミリーで賑わう。



海外事業の業績

- 中国は既存店伸び率が好調、営業利益も計画を上回り大幅増益。
- アセアンはマレーシアが好調に推移、タイも既存店伸び率が順調に回復。
インドネシアは第2四半期としては初めて営業利益の黒字化を達成。

<国別の業績>

(単位：百万円、%)

第2四半期 累計期間実績	中国		マレーシア		タイ		フィリピン		インドネシア	
	2017 2月期	2018 2月期								
既存 伸び率	+4.8	+10.3	+7.6	+12.8	△14.3	+17.1	△11.8	△1.6	—	△3.0
売上高	3,392	4,184	789	991	323	384	305	464	98	188
店舗利益	362	593	133	205	△39	△79	38	63	24	65
販管費	354	464	87	111	47	50	47	67	30	42
営業利益	7	128	45	93	△86	△130	△9	△4	△5	23

※中国は2016年5月に「営業税から増値税」への移行がサービス業に適用されました。これにより売上高は約6%減りますが、同額以上の営業税等（費用計上）が減るため利益に対してはプラス要因となります。この影響を考慮した実質的な既存伸び率は+12.0%となります。



株式会社イオンファンタジー

中国事業における事業拡大

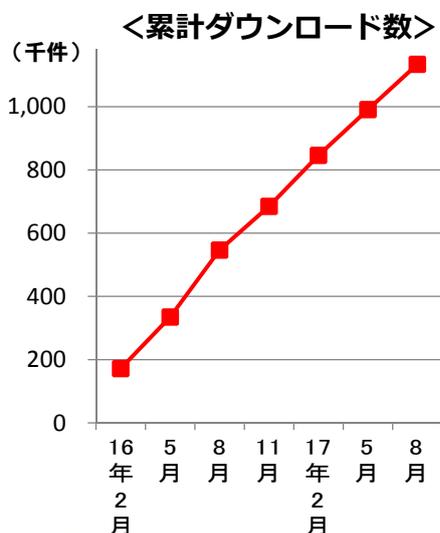
- 第2四半期累計期間に16店舗の新規出店。



株式会社イオンファンタジー

中国でeコマースによる物品販売を開始

- アプリ会員システムの会員数は、8月末で110万人を突破。
- 7月より、eコマースによる物品販売を開始。



中国で3店舗の活性化を実施

- 内装と遊具の品揃えを一新する大型の活性化を2店舗実施。
- 来店客層に合わせ、「キッズーナ」への業態変更を1店舗実施。



活性化実施店舗の
昨年比

実施前 91.1%

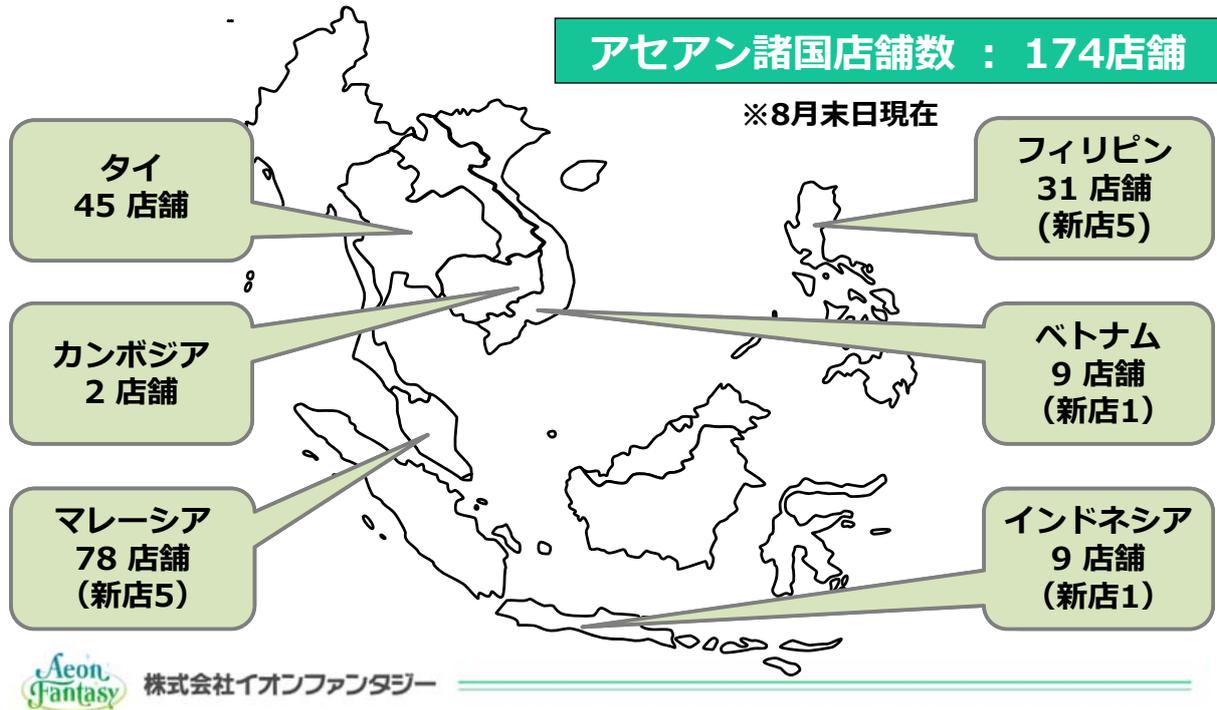


実施後 134.4%

+43.3ポイントの
効果

アセアン諸国における事業拡大

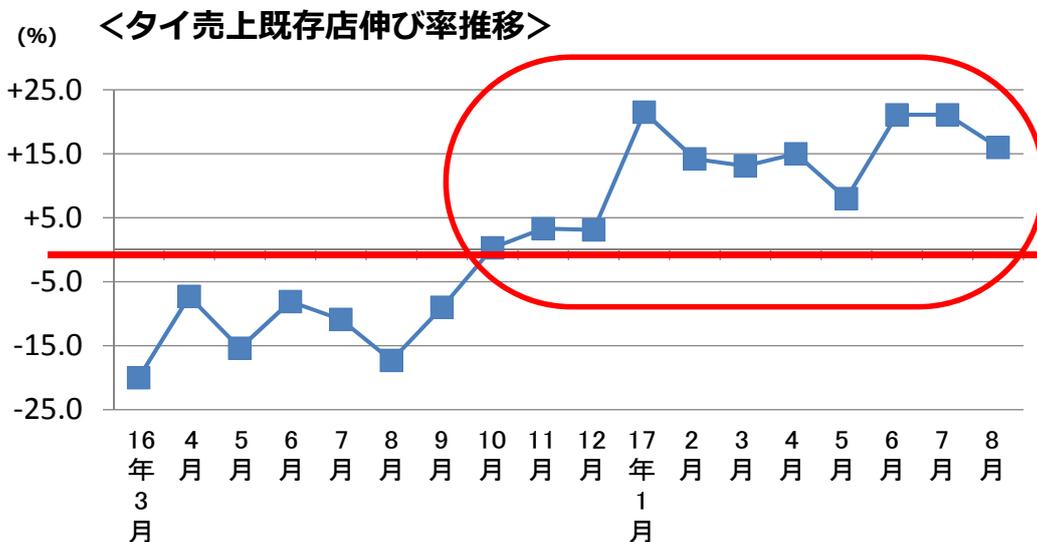
■ 第2四半期累計期間に12店舗の新規出店。



28

タイの既存店改善

- 既存店の立て直しに注力し、遊具の改廃や店舗活性化により順調に改善。
- 昨年10月より11ヶ月連続で既存店伸び率がプラス。



29

2018年2月期 連結業績予想



2018年2月期の連結業績予想

(単位：百万円、%)

	2017/2期 実績	2018/2期 予想	前期比 (%)
売上高	65,058	70,000	+7.6
営業利益	3,769	5,000	+32.6
経常利益	3,498	4,550	+30.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,697	2,150	+26.6
1株当たり当期純利益	86.18円	109.10円	22.92円増
1株当たり配当金	31円	32円	+1円

※2017年9月28日に連結業績予想を修正しております。

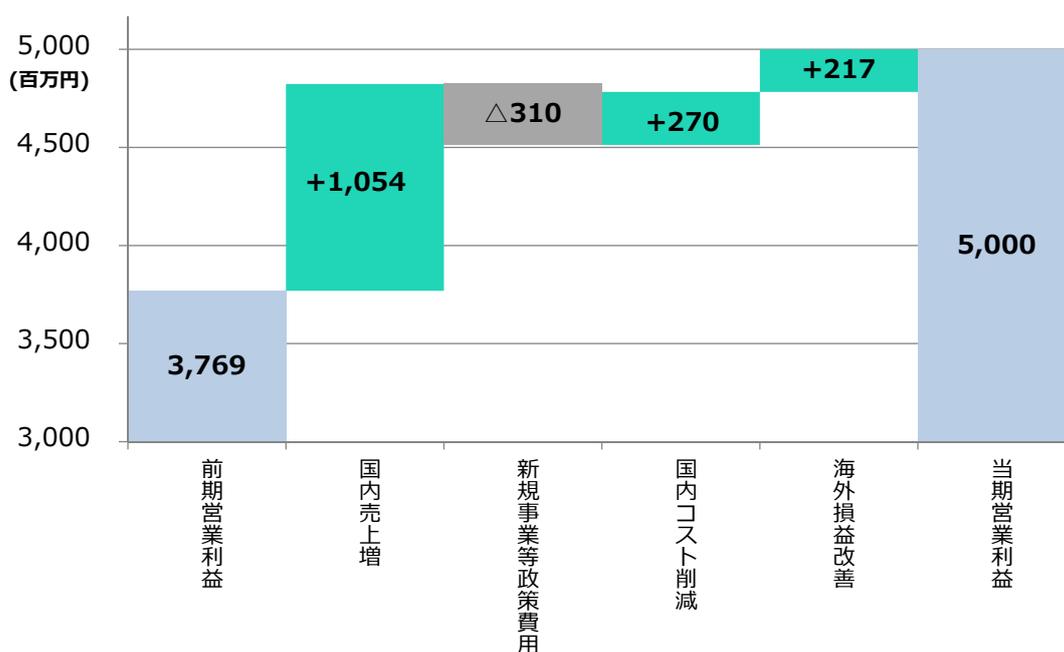
セグメント別連結業績予想

(単位：百万円)

	国内	海外			連結調整	連結計
		中国	アセアン	計		
売上高	57,100 (+4.6%)	9,000 (+25.4%)	4,400 (+32.3)	13,400 (+27.6%)	△500 (-)	70,000 (+7.6%)
営業利益	4,710 (+1,023)	300 (+101)	0 (+115)	300 (+217)	△10 (△10)	5,000 (+1,230)

- 年間出店数 国内 8店舗 海外 82店舗
- 既存店売上 国内 105% 海外 105%

営業利益増減要因



業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。



参考資料

単体資料



2018年2月期第2四半期累計期間の業績（単体） 参考資料

（単位：百万円）

	2017/2期 第2四半期 累計期間	2018/2期 第2四半期 累計期間	前期比 増減率
売上高	27,518	29,708	+8.0%
売上総利益	3,266	4,178	+27.9%
販管費	1,502	1,709	+13.8%
営業利益	1,763	2,468	+40.0%
営業外損益	△12	△142	—
経常利益	1,751	2,326	+32.9%
税引前四半期純利益	1,281	2,155	+68.2%
四半期純利益	600	1,330	+121.6%



株式会社イオンファンタジー

2

会計上の売上高詳細（単体） 参考資料

（単位：百万円）

	2018/2期 第2四半期		前期比	既存比
	実績	構成比		
遊戯機械	24,537	82.6%	109.0%	110.2%
商品（物販）	4,695	15.8%	97.9%	98.9%
委託	74	0.2%	95.7%	—
遊戯施設関係合計	29,306	98.6%	107.0%	108.3%
その他	401	1.4%	292.2%	—
売上高合計	29,708	100.0%	108.0%	108.4%



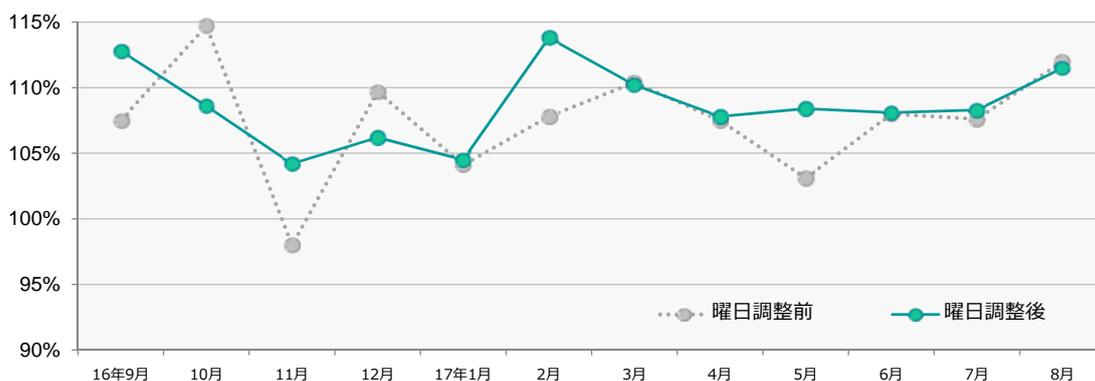
株式会社イオンファンタジー

3

既存店売上高前年比の月次推移（単体）

参考資料

FY2016 3Q~4Q	2016/9月	10月	11月	12月	2017/1月	2月
曜日調整前	107.5%	114.7%	98.0%	109.7%	104.1%	107.8%
曜日調整後	112.8%	108.6%	104.2%	106.2%	104.5%	113.8%
FY2017 1Q~2Q	2017/3月	4月	5月	6月	7月	8月
曜日調整前	110.4%	107.5%	103.1%	108.0%	107.6%	112.0%
曜日調整後	110.2%	107.8%	108.4%	108.1%	108.3%	111.5%



部門別売上動向（単体）

参考資料

(単位：%)

	2017年2月期 第3四半期		第4四半期		2018年2月期 第1四半期		第2四半期	
	売上高 構成比	既存比	売上高 構成比	既存比	売上高 構成比	既存比	売上高 構成比	既存比
時間制遊具	4.5	102.4	4.1	93.8	4.2	95.1	4.4	98.8
体感	8.6	93.7	8.0	93.4	8.3	95.2	7.4	93.6
カード	18.4	108.9	16.4	107.6	15.4	102.8	13.5	93.1
メダル	24.4	100.2	25.2	105.2	24.9	106.9	25.8	107.5
プライズ	39.6	113.4	41.9	109.0	42.3	113.2	45.2	124.7
シール	3.1	91.2	2.7	86.9	3.4	86.7	2.5	81.7
カプセル玩具	1.0	100.9	1.3	120.7	1.2	120.8	0.9	108.4
遊戯施設売上計	100.0	105.8	100.0	105.5	100.0	106.7	100.0	109.6

四半期毎の収益の推移（単体）

参考資料

（単位：百万円、％）

	2017年2月期 第3四半期	増減率 (%)	第4四半期	増減率 (%)	2018年2月期 第1四半期	増減率 (%)	第2四半期	増減率 (%)
売上高	12,551	+4.6	14,505	+4.0	13,759	+6.8	15,949	+9.0
売上原価	11,400	0.0	12,168	+2.9	12,136	+4.4	13,393	+6.0
売上総利益	1,150	+92.1	2,336	+10.1	1,622	+28.5	2,555	+27.5
販管費	725	△0.7	838	+24.1	856	+12.1	853	+15.5
営業利益	425	－	1,498	+3.6	766	+53.6	1,702	+34.6
営業外損益	7	－	△59	－	△23	－	△118	－
経常利益	432	－	1,438	△13.9	742	+53.8	1,584	+24.9
特別損益	△58	－	△560	+128.1	△392	△14.5	221	－
税引前利益	373	－	878	△38.3	350	－	1,805	+43.5
法人税等	199	－	536	+6.3	280	+25.5	544	+18.9
四半期純利益	174	－	341	△62.8	70	－	1,260	+57.6

貸借対照表（単体）

参考資料

（単位：百万円）

	2017/2期末		2018/2期 第2四半期末		期首に 対する 増減
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	7,885	23.9%	8,810	23.1%	+925
固定資産	25,126	76.1%	29,293	76.9%	+4,167
資産合計	33,011	100.0%	38,104	100.0%	+5,092
流動負債	6,835	20.7%	10,873	28.5%	+4,037
固定負債	399	1.2%	409	1.1%	+10
負債合計	7,234	21.9%	11,282	29.6%	+4,047
純資産合計	25,776	78.1%	26,821	70.4%	+1,044
負債純資産合計	33,011	100.0%	38,104	100.0%	+5,092